

トルコ大地震

600人を診察

AMDAの医師ら

AMDA（アジア医師連絡協議会、本部・岡山市）がトルコ北西部大地震の緊急救援に派遣していた医師ら三人が十三日、記者会見し、現地の様子を報告した。

会見したのは、第一次救

援チームの医師上田昭彦さん（三三）⇨東京都調布市⇨、調整員大塚豊彦さん（三三）⇨広島県廿日市市⇨、第二次チームの医師中桐伸五さん（五六）⇨児島郡灘崎町⇨。救援チームは、震源地に近いギョルジュク近郊のヌシュテイエ村を拠点に、延べ十三人体制で計六百人を診察した。

上田さんは、約百五十人

を診察。中には、十時間以上にわたって建物の下敷きになった人もいた。けががなくても、ショックから不安を訴える人も多かったという。上田さんは「世界各国から届く救援物資が、効率的に配給されていないようだった。どこで何が不足しているかなど、被災地の情報伝達の重要性を改めて感じた」と語った。